

デジタルファイバアンプ

FH-V35シリーズ



NPN/PNP、常開/常閉、立ち上/立ち下パルス出力などの多種の出力モードを同時に備える

FH-V35シリーズ

このシリーズのファイバアンプは最も基礎的な立ち上/立ち下パルス出力機能を持っている

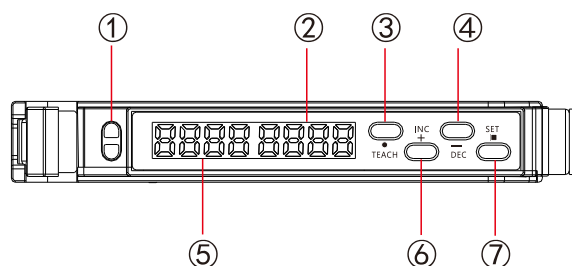
FH-V35Xシリーズ

このシリーズのファイバアンプはメニューシステムを廃止し、簡単なキー設定のみで、オペレータの能力要求を大幅に低減し、最も便利なファイバアンプシリーズ製品である

FH-V35Mシリーズ

0 ~ 5 VDC電圧出力と4 ~ 20 mA電流出力の2種類の出力モード、解像度8 Bitを持つ

インタフェースの説明



- | | |
|-----------------|----------------|
| ① 出力ランプ (赤色) | ⑤ 設定・設定値表示 (緑) |
| ② 現在値を表示します (赤) | ⑥ 増分ボタンです |
| ③ 学習キー/確認キーです | ⑦ 設定キー/終了キーです |
| ④ 減少ボタンです | |

電源投入から安定動作までのドリフト量が3%未満で安定性が良い

電磁、環境光に強く、その他の光源の干渉に強い

遅延：0~9999 ms制御調整機能

感度は調整可能、さまざまなお客様に適しています

応答が速く、周波数が高い

安定性が優れている

DINレールへの取り付け

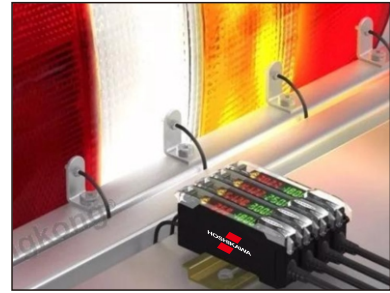
用途・事例



錠剤の検査



小さい部品の数のカウントする



LEDが点灯しているかどうかを確認します

種類

項目	種類		NPN/PNP出力		アナログ出力
	型番	コード引き出し	FH-V35		FH-V35M
			FH-V35P		
			FH-V35-C1		FH-V35M-C1
			FH-V35P-C1		
外観					
検出出力		NPNトランジスタ・オープンコレクタ 最大流入電流：100 mA 印加電圧：30 V以下 （検出出力と0V間） 残電圧：1.0 V以下 （電流50 mA流入時） 0.4 V以下（電流16 mA流入時）	PNPトランジスタ・オープンコレクタ 最大流出電流：100 mA 印加電圧：30 V以下 （検出出力と+V間） 残電圧：2.0 V以下 （流出電流100 mA時） 1.0 V以下（流入電流16 mA時）	Av：0 ～ 5 VDCの電圧出力 AA：4 ～ 20 mAの電流出力 分解能：8ビットBit	
光源タイプ		赤色光源			
操作出力		検出時ONまたは非検出時ONは、キーを押して設定できます			
自己診断		不安定検出時にONを出力し、この信号は40 ms持続する、出力短絡時は自動的に出力を遮断し、短絡解除まで保護信号を継続する			
検出距離		拡散反射：200mm 反射：800mm		拡散反射：150mm 反射：600mm	拡散反射：200mm 反射：800mm
遅延		0～9999 ms制御		なし	なし
調整機能		200%、100%、50%、25%、12%		100%	200%、100%、50%、25%、12%
送信電力対応周波数		200、400、600、800、1KHz		400Hz	200、400、600、800、1KHz
特殊出力1		立ち上パルス出力、 立ち下パルス出力		なし	なし
使用周囲温度		-10℃～ 50℃（但し、結露および氷結しないこと） 保存：-20℃～ 70℃			
使用周囲湿度		35～85%RH			
備考		なし		設定キーを常開/ 常閉に切り替えます	なし

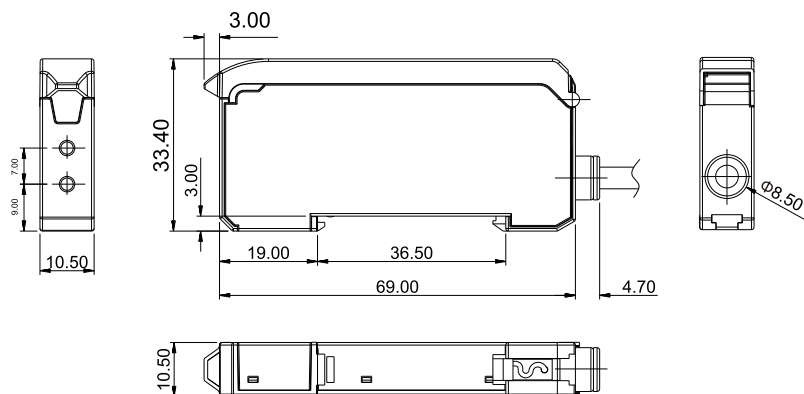
FH-V41

FH-V35

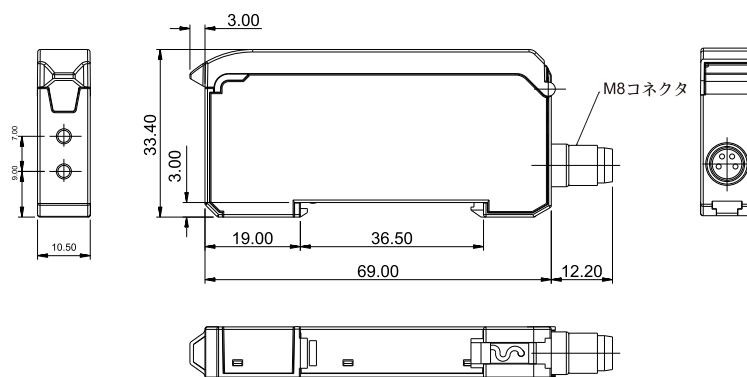
FD

外形寸法図(単位mm)

FH-V35□□



FH-V35□□-C1



製品名の付け方

FH-V35-□□-□□-□□□□

① ② ③ ④ ⑤ ⑥

① シリーズ
例: FHシリーズ③ 出力モード
P: PNP⑤ 接続
なし: 2mリード式
C1: M8三芯プラグイン② コード化
例: V35④ ④特殊出力
なし: パルス出力
X: ありません
M: アナログ出力⑥ その他です
アルファベットと
数字で表します

使用方法ガイド

⚠ 警告します

本製品は、人体保護用の検出装置として
は使用しないでください。



使用上の注意

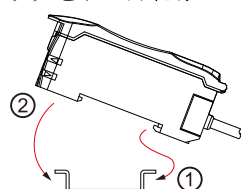


- ・製品を身の安全を保障する検出装置として
使用しないでください
- ・人体保護を目的とする検出にはOSHA、ANSI、
およびIEC等の各国の人体保護用に関する法
律および規格に適合する製品をご使用くだ
さい。

● 取り付け時

アンプの取り付け方法 (36.5mm DINレール)

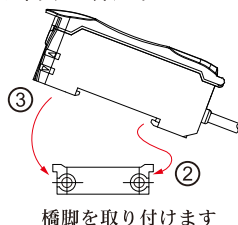
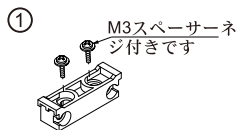
- ① ファイバユニット挿入部側のツメをレールに
かけて
- ② カチッと音がするまでフッ
クを押し込みます



□36.5mm□DIN□□□□

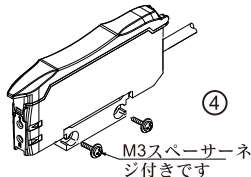
アンプの取り付け方法 (マウントラック)

- ① マウントラックを固定する
- ② 取付部後部をマウントラックに嵌め込む
- ③ 取付部後部をマウントラックに向けて押圧すると
ともに、アンプ前部をマウントラ
ックに嵌め込む。



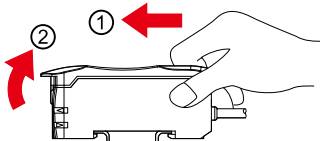
橋脚を取り付けます

- ④ ネジで取り付ける場合は、M 3ワッシャ付きネジを使
用し、締め付けトルク



アンプの取り外し方法

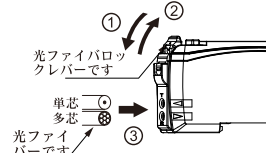
- ① アンプを手を持ち、前に押し出す。
- ② アンプ先端を持ち上げると、取り外しができます



(注1) : アンプを前方に押し出さずに先端を持ち上げ
ると、取り付け部分の後端のフックが折損する恐れが
ありますので注意してください。

ファイバの取り付け

- ① ファイバロックレバーを押下げる
- ② ファイバを挿入口から移動できなくなるまでゆっくり挿
入します (注1)
- ③ ファイバロックレバーを移動できなくなるまでリセッ
トします。

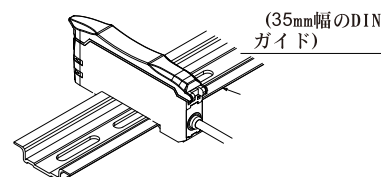


(注1) : ファイバの挿入が徹底していないと検出距離
が短くなるので注意してください。耐屈曲光ファイバ
は挿入時に屈曲する可能性があるので、注意して挿入
してください

(注2) : 同軸反射型ファイバを使用する場合は、中心
光ファイバ (単心) を投光部に挿入してください。反
装着は検出精度の低下を招くので注意してください。

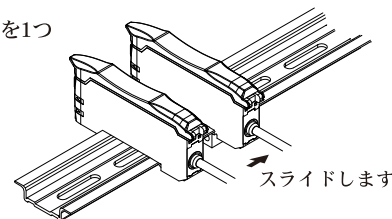
取り付け方法

- ① アンプを幅35 mmのDINレールに1つずつ取り付け
- ② スライドアンプは互いに密着させ、ワンタッチケー
ブルを接続します
- ③ エンドプレート (別売) 平面を内側として両端からクラ
ンプして取り付け
- ④ エンドプレートのネジを締めて固定します



取り外し方法

- ① エンドプレートのネジを緩めます
- ② エンドプレートを取り
外します
- ③ スライドアンプを1つ
ずつ取り外します



取り付けについて

- アンプは電源を切った状態で取り付けまたは取り外して
ください
- 使用環境温度はアンプの設置台数により異なりますので、
必ず確認してください
- アンプを2台以上取り付ける場合は、必ずDINレールに取
り付けてください
- DINレールにアンプを移動させたり、複数のアンプを密着
させて取り付けたりする場合は、別売りのエンドプレート
で両側からアンプをクランプして取り付けてください
- のアンプを装着場合、2台目のアンプからシングルタッチ
ケーブルとしてサブケーブルを使用する
- ケーブルタイプとコネクタタイプを並列接続して使用する
場合、ワンタッチケーブルで電源を共用することはできま
せんので、同じ機種を接続してください